

神電協ビジョン2020

電気設備は、経済・産業活動や国民生活を様々な面において支えている重要な社会基盤ですが、脱炭素社会実現など環境問題や施設の性能等への対応により、ますます高度化、複雑化しております。神奈川県電業協会は、社会のニーズに対応した施工品質を維持するため、電気工事技術者及び技能者の人材確保・育成、技術・技能の向上を図り、会員企業の発展と電気工事の安全かつ適正な施工及び災害時の緊急対応を通じて社会に貢献します。また、SDGsを意識した取り組みで、経済的価値と環境・社会的価値の両立を目指していきます。

行動計画(2020.4から5年間)

- 1 正会員100社体制を実現する。
- 2 会員企業の発展を支援する。
- 3 施工品質向上、省エネ・再エネへ取り組むための調査研究及び講習会を実施する。
- 4 災害時における地域復旧活動を支援する。
- 5 適正な受注機会、施工方法の確保に向けた要望活動を行う。
- 6 就労機会の提供及び労働力確保のため、工業高校、職業技術校、専門学校、大学との連携を深める。
- 7 公益目的支出計画を着実に実施する。
- 8 会館維持管理計画を策定する

8つの実施施策

1 正会員100社体制の実現

- 「会員加入促進強化月間」(仮称)の創設
- ブロック会議の活用
- 入会案内パンフレットを関係機関に配布
- ホームページによるPRの実施

2 会員企業の発展を支援

- メリット事業の創設(経営・労働相談事業、BCP作成支援事業、知的財産活用相談事業など)
- 中小企業支援機関【(公社)けいしん神奈川、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団など】との連携

3 施工品質の向上、省エネ・再エネへの取組

- 現場代理人講習会の開催
- 現場見学会の開催
- 電材メーカーの新技术、新素材に関する情報収集
- 電設工業展(JECA FAIR)派遣

4 災害時における地域復旧活動を支援

- 地方公共団体と締結した防災協定に基づく体制の維持

5 適正な受注機会、施工方法の実現

- 公共工事の「分離発注」実現に向けた国、県、市への定期的な要望活動の展開
- 国・県・市の入札制度見直し、施策をリサーチ(日本電設工業協会との連携)

6 就労機会の提供及び労働力の確保

- 工業高校、職業技術校、専門学校、大学との「意見交換会」、「出前授業」、「インターンシップ」の実施
- 合同企業説明会等の開催

7 公益目的支出計画の着実な推進

- 一般社団法人移行認定申請時に定めた「公益目的支出計画」事業の着実な実施

8 会館の維持管理

- 土地建物マネジメントの策定(修繕、建替、売却)

PDCAサイクルによる検証と改善を事業計画と予算に反映

